

抽出指導研修

本校では、自立活動における抽出指導を3つのセッションに分け実施しています（セッション1は「健康の保持・身体の動き」に関する内容、セッション2は「心理的な安定・環境の把握」に関する内容、セッション3は「コミュニケーション・人間関係」に関する内容を中心的に扱い指導を行っています）。

抽出指導研修は、各セッションの専門領域に関する内容や取組について講義・演習を行うことで教員の知識・技能の向上と、実践の改善を目指して実施しています。

第一期	基礎的な内容の講義
-----	-----------

①健康・からだ（セッション1）：肢体不自由教育ハンドブック（和歌山県教育委員会発行）の読み合わせ（平成29年5月18日実施）

【内容】

平成27年度に肢体不自由教育ハンドブックが完成してから毎年1～3項目ずつ、解説を入れながら読み合わせを行っています。

今年度は肢体不自由教育ハンドブックのQ1：「健康観察」ってどこをみればよいの？、Q2：「いつもと違う！！」と思ったら・・・を中心に読み合い、「健康」の捉え方、「健康観察」のポイント、「健康観察」に関係する用語の確認等を行い、パルスオキシメーター、体温計を用いて、自分自身のバイタルチェックを実施し、「健康観察」についての理解を深めました。



②感覚・こころ（セッション2）：「初心者の感覚統合について」（平成29年6月15日実施）

【内容】

「感覚や感覚統合に関する基礎的知識」と「手の役割」「接触防衛」についての講義を行い、ホーススウィング、フレクサースウィング、メガボールを使用し、実際の感覚運動や感覚刺激を用いた実技指導等、日々教室での実践につながる内容の研修となりました。



③食べる・はなす（セッション3）：「SST～はじめの一步～」（平成29年6月19日実施）

【内容】

前半はソーシャルスキルとして身につけたい力についての話をを行った後、指導の基本テクニックについて講義を行いました。



後半は子どもの実態やねらいを踏まえ、抽出指導で取り組んでいる実践や教材等を紹介し、次の日からすぐに使える内容の研修となりました。

第二期	実践報告：平成29年1月13日実施
-----	-------------------

以下は昨年度の報告です

①健康・からだ（セクション1）：スパイダーの取組

【内容】

「重力軽減環境訓練システム（通称スパイダー）」の基本的な情報や使用方法、理論的効果についての講義と児童生徒の取組の動画を通して、実践による効果や活用について報告と検討を行いました。

②感覚・こころ（セクション2）：コミュニケーション行動を促す感覚統合の取組

【内容】

言語的なコミュニケーションや対人に対する興味関心に課題のある子どもに対して、感覚に働きかけることを利用し、コミュニケーションの基礎的能力を育てる実践やそれにつながった取組について、実践の動画を用いて事例紹介し、教室での実践につながるポイントを紹介しました。

③食べる・はなす（セクション3）：iPadを使った言葉の学習

【内容】

iPadを活用したことばの学習（気持ちのことば・抽象的なことば・発音の振り返り等）の取組の紹介と事例報告を行いました。また、学習時に使用したアプリケーションや教材の紹介を行い教室での実践につながる情報の共有を図りました

※平成29年度は平成30年1月18日(木)に行う予定です。